

重点施策	目指す市民の姿	基本施策	行動目標	事業の方向性	実施担当課 (健康はだの21 重点施策No.基本施策No. 行動目標No. 参照ページ)	担当課 評価	担当課評価理由
							課題と今後の方向(改善案)
5 こころの健康づくりの推進	十分な休養をとり、こころのゆとりと生きがいの時間を持つ	5-1 こころの健康に関する普及啓発	1 ストレスと上手に付き合おう	1 2 うつ対策に等しい普及啓発を実施します。ついて普及啓発を実施します。	⑳ <健康づくり課> (重点施策5 基本施策5-1 行動目標1 pp. 79-82)	A	若年層へのこころの健康づくりの普及啓発に積極的に取り組み、ストレス度やストレス解消法について知る環境づくりを充実させた。 ・すべての事業の継続実施
					平成29年度実施計画		平成29年度実施状況
					1 ストレスに関する普及啓発 ①ストレス対策講座の開催 1回/年 100人 保護者を対象に、学校との連携により開催。 ②メンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」 ・広報ホームページでの周知 ・チラシ配布 自殺予防週間及び自殺対策強化月間 駅頭キャンペーン(年2回 9月、3月) 市役所本庁舎、図書館にブースを設置 市内全中学生 健康講座等	→	1 ストレスに関する普及啓発 ①ストレス対策講座の開催 2回/年 自殺対策週間に周知強化 参加者数:69人 (小学校PTA保護者24人、ファミリーサポート支援会員45人) ②メンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」総アクセス数:21,207件(前年 35,643 件) 10代アクセス数 1,912件/年(前年3,760件) 30、40代女性アクセス数 3,579件/年(前年6,156件) こころの体温計カード 9,779枚配布(再掲 中学生8,379部) 駅頭キャンペーン 9月及び3月 各回700人 (テーマ:こころの健康、対象者:一般市民、特に若年層と中高年男性へ配布) 9月、3月 カード8,379部配布 (学生の自殺が多い長期休暇明けの時期に配布)
			2 うつ対策に関する普及啓発 ①こころの健康に関する図書の紹介 ・自殺予防週間の図書館キャンペーン ②メンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」の導入(再掲) 3 ストレスはあるがその解消法がある人の割合を把握 継続実施 過度の飲酒は睡眠の妨げになる。睡眠とストレス対策は継続実施。	→	2 うつ対策に関する普及啓発 ①こころの健康に関する図書の紹介 図書館からの申し入れにより、9月のみ実施 ②メンタルセルフチェックシステム「こころの体温計」の導入(再掲) 3 ストレスはあるがその解消法がある人の割合を把握 あるの割合 42.7% その解消法は「運動、スポーツ」「睡眠」「お酒」「食べる/外食する」		
			㉑ <高齢介護課> (重点施策5 基本施策5-1 行動目標1 pp. 79-82)	A	平成29年度から、より積極的に認知症サポーターの養成ができるよう認知症キャラバンメイトをボランティア団体として組織化した。主体性の活動に向けて、着実に進んでいるのでAとした。 平成30年度も認知症キャラバンメイトを市独自で養成し、認知症の方やその家族を地域で見守る認知症サポーターをさらに増やしていく。		
			平成29年度実施計画		平成29年度実施状況		
1 うつ対策に関する普及啓発 ①閉じこもり予防・うつ予防・認知症講演会 ・閉じこもり予防・うつ予防講演会 1回/年 ②認知症に関する普及啓発 ・認知症サポーター養成講座 3,500名/年 ・認知症キャラバンメイト養成(秦野市で独自養成) 1回/年	→ →	1 うつ対策に関する普及啓発 ①閉じこもり予防・うつ予防・認知症講演会 ・ハッピーライフフェスタ(終活) 1回/年 参加者数 150名 ②認知症に関する普及啓発 ・認知症サポーター養成講座 新2,787人/年 ・認知症キャラバンメイト養成 ※認知症サポーター養成の講師 1回/年 44人					
2 めぐりつくり眠って、すっきり目覚めよう	1 2 を睡眠の実施に活用し、睡眠の知識や対処法等について普及啓発を実施します。	㉒ <健康づくり課> (重点施策5 基本施策5-1 行動目標1 pp. 79-82)	A	・睡眠による休息について積極的に普及啓発を行い、こころの健康に資する睡眠の重要性について知る環境づくりを行った。 ・事業は継続実施 ・睡眠の知識や対処法等について、継続的に積極的な普及啓発に努める。			
		平成29年度実施計画		平成29年度実施状況			
		1 睡眠に関する普及啓発 ①睡眠講座の開催 1回/年 100人 正しい睡眠を得るための情報をPTAに発信していく ②チラシ配布 ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間 ・公民館等の窓口設置 2 睡眠で十分休養を得られている人の割合を把握 調査を継続実施し、実態に即した講座の内容に反映させる 睡眠講座の内容に反映させていく 正しい睡眠を得るための情報をPTAに発信していく	→	1 睡眠に関する普及啓発 ①睡眠講座の開催 子育て中の保護者を対象に、PTAに呼びかけ開催。 1回/年 44人(前年度2回 108人) ②チラシ配布(重点5 基本5-1 行動1 1-②再掲) ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間 ・公民館等の窓口設置 2 睡眠で十分休養を得られている人の割合を把握 十分得られている人の割合 65.8%			

5	こころの健康づくりの推進	十分な休養をとり、こころのゆとりと生きがいの時間を持つ	5-2	悩み事を相談しやすい体制の充実	1	いのちを大切にしよう	123	ゲートキーパー養成 いのちの大切さを普及啓発 相談体制の整備 いのちの大切さを普及啓発 相談体制の整備	<p align="center">㉓ <健康づくり課> (重点施策5 基本施策5-2 行動目標1 pp. 85-91)</p>	A	<p>・誰にでも起こり得る危機として、こころの不調を捉え、早期の「気づき」に対応できる人材の養成を図った。</p> <p>・事業の継続実施 ・ライフステージや立場ごとに異なる状況に応じた相談体制の整備や相談先の周知を強化するため、秦野市自殺対策計画(仮)を策定する。</p>			
									平成29年度実施計画			平成29年度実施状況		
									<p>1 ゲートキーパー養成</p> <p>①市職員向け研修 1回/年 60人</p> <p>②市民向け研修 1回/年 100人 民生委員対象</p> <p>2 相談体制の整備</p> <p>①さまざまな悩みの相談窓口一覧作成</p> <p>②個別相談 ・死にたいなどこころの不調に関する相談窓口の紹介 随時</p> <p>3 いのちの大切さの普及啓発</p> <p>①自殺予防週間及び自殺対策強化月間キャンペーン ・駅頭キャンペーン(年2回 9月、3月) ・市役所本庁舎、図書館にブースを設置、5階に横断幕設置 テーマを工夫し、広く一般へ周知する</p> <p>③福祉講演会</p> <p>② 赤ちゃんふれあい体験の実施 希望中学校を対象に、夏休み期間中3回 5月の校長会で周知を図る</p>	→	<p>1 ゲートキーパー養成</p> <p>①市職員向け研修 1回/年 39人</p> <p>②市民向け研修 1回/年 114人 (民生委員・児童委員・主任児童委員新任研修及びファミリーサポート支援員研修において実施)</p> <p>2 相談体制の整備 (重点5 基本5-1 行動1 1-②再掲)</p> <p>①さまざまな悩みの相談窓口一覧作成 配布数:11,172部</p> <p>②個別相談 相談件数2件(相談者:女子中学生と50代女性)</p> <p>3 いのちの大切さの普及啓発</p> <p>自殺の原因2位の健康問題の予防にむけ「健康」をテーマに キャンペーンを実施(年2回 9月、3月) ・市役所本庁舎、図書館にブースを設置、5階に横断幕設置</p> <p>→ 依頼のあった中学校 37名(1クラス)に実施</p> <p>①-1福祉講演会は、命の授業として定時制高校1校7名①-2小学校2校200名で命の授業</p> <p>② 赤ちゃんふれあい体験の実施 3回実施:希望中学校3校、参加者14名</p>			
									平成29年度実施計画			平成29年度実施状況		
<p>1 相談体制の整備</p> <p>①介護者からの相談支援 ・介護者ほっとライン 週1回</p> <p>・介護者のつどい</p> <p>・介護者セミナー ・在宅医療・介護連携推進講演会 地域包括ケアや在宅介護を考える研修会を実施</p>	→	<p>介護者のつどいについて、参加者数は伸び悩み、介護者のニーズに合った開催ができるよう課題があることからBとした。介護者ホットラインは、介護サービス事業者から利用者に周知してもらうなど、継続してPRをしていく。</p> <p>平成30年度から各地域高齢者支援センターに配置された認知症地域支援推進員の協力のもと、より多くの介護者が参加できるよう、介護者のつどいの開催方法について検討し、実施していく。</p>												
平成29年度実施計画			平成29年度実施状況											
<p>1 相談体制の整備</p> <p>①介護者からの相談支援 ・介護者ほっとライン(案内カードは認定結果通知に同封) 電話相談 15件 訪問相談 6件 受付時間を拡大(市役所開庁時間)</p> <p>・介護者のつどい 7回/年 34人 開催会場を通所サービス会場としたり、講座を重ねて開催するなど工夫した。</p> <p>・介護者セミナー 2回/年 78人</p> <p>・在宅医療・介護連携推進講演会 2回/年 297人 (「家に帰ろう」「お迎えされて人は行く」)</p>	→													

㉔ <高齢介護課>
(重点施策5 基本施策5-2 行動目標1 pp. 85-91)